

第6回

獣がいフォーラム

市民の力で変わる 獣がい対策への新しいアプローチ

2023年は全国各地でクマによる人身被害が相次ぎ、大きな社会問題となりました。一方で、北海道では、様々な市民や関係者が協働して対策を推進し、ヒグマと人間の共存を目指す取り組みが活発化しています。第6回獣がいフォーラムでは、北海道のヒグマ対策の事例を参考に、被害を受ける「住民」や都市部からの「関係人口」による取り組みに加え、新たに「市民」の力を獣がい対策に活かす方法を考えます。

午前の部／9:30～12:00
基調講演 & パネルディスカッション



基調講演

市民によるヒグマ対策

すみ分けによる共存を目指して私たちにできること

佐藤 喜和

酪農学園大学教授

パネルディスカッション



コーディネーター

山端 直人

兵庫県立大学 教授

【テーマ】

「住民」「関係人口」「市民」
多様な主体の協働を促すには



中井 悅夫 矢代自治会

地域住民の力で取り組む獣がい対策



田渕 幹敏 梶ナチュラルスタイル 事業部長
山健社 代表

登山で地域を応援!
獣害柵点検ツアーの可能性



兵庫県立篠山東雲高等学校

高校生が地域を応援!
放置柿の有効活用の新たな展開



鈴木 克哉 NPO法人
里地里山問題研究所代表理事

食卓から地域を応援!
「さとえーる」推進プロジェクト



令和6年

3月2日(土)

四季の森生涯学習センター
東館1階大会議室
(丹波篠山市網掛429)

午後の部／13:00～14:30
グループトーク

分科会1 獣がい対策：はじめの一歩



「獣がい」のことを始めて知った。興味があるけど何から始めいいか分からない。

地域で被害を受けているけど、前向きな獣がい対策に取り組んでみたい…など「獣がい対策」のはじめの一歩を踏み出すための分科会です。

分科会2 獣がい対策アイデアソン



アイデアソンとは「アイデア」と「マラソン」をかけ合わせた造語で、この分科会では特定のテーマ（当日発表）をもとに「獣がい対策」の新たなアイデアの創出を目指します。

展示・試食

電気柵製造メーカーによる商品展示

柿を有効活用した
商品の試食あります!
(柿ジャム)



◀ 詳細・事前申込みはこちら

YouTubeでの後日視聴も可能です!
※お申込みの方に視聴用URLをお送りします。